

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・経営理念(事務機器・教育機器の提案を通じ地域社会に貢献する)は明文化され、経営目標は期初の説明会などの機会を通じて、従業員に説明され、共有している								8	9								17				
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確實に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・不定期だが朝礼などで事件・事故などを引き合いに従業員に対して法令遵守の啓発に取り組んでいる																		16			
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・会社として公正な取引に努め、月次の定期会議などで従業員に向けその重要性を発信している ・不定期だが朝礼などで事件を引き合いに従業員に対して公正な取引の啓発に取り組んでいる											10							16			
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・担当者として代表取締役を任命している ・自らの事業活動が、社会・環境に及ぼす正と負の影響(可能性)について ・月次の定期会議や朝礼などで、従業員への啓発に取り組んでいる																		16			
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・社内ポスター、やお客様に提出する提案書などに記載、添付するものは メーカーの許可を得たものにしている								8.2	8.3	9									16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・お客様の情報はPC内で管理され、パスワード、UTM・GSPを使用して外部からの進入及び内部流失を防いでいる																			16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・商品の貸出時にはアンケートをとってお客様の生の声を取得している ・業務上の取引先とは、頻繁に情報交換を行い、繋がりを重視している																		16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●								5		8		10		12	13	14	15	16			17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●											9		11		13.1							16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●										8	9											17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2			5		8					12	13	14	15	16				17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別・年齢・障がい・国籍・出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件及び職場環境において、差別しない体制・運営を徹底している ・差別やハラスメントが起きないように日々のコミュニケーションを密にしている			4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								16.1 16.2 16.7				
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・毎日社員と顔を合わせる際に元気かどうかを確認している ・アレルギーチェックにより安全運転には細心の注意を払のように取り組んでいる		3					8.8														
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に問わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員(正社員・アルバイト)の公正な待遇を行っている					5.5		8.5		10.2 10.3												
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・ワークライフバランスに力を入れており、残業時間の管理徹底や、在宅ワークの導入による働き方改革を取り組んでいる ・有給休暇の取得奨励を実施し、健康増進、家庭や育児、ボランティア活動への積極的参画などの環境を整えている		3		5.5			8.5 8.8		10.3												
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・商工会議所などのセミナーに参加させている ・取引先より適切な能力開発、教育訓練の場が提供され、参加している ・業務上「高度医療機器販売」の資格を会社経費で取得させている			4	5.5			8	9													
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・朝礼時に交通事故などへの注意喚起、健康チェックがされている ・健康診断は経費補助があり、毎年受診するよう、予約・実施の登録を管理されている		3					8											17			
	18	【ダイバーシティ・経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇格等に、人種、性別などの違いによる差別的待遇が無いようにしている			4.4 5.5			8.5		10.2 10.3										16.7			
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・密を避けるためデスクの間隔を広げ事務所内に空気清浄機を導入している ・Web会議活用など効率を重視した環境を整えている			3				8	9.1		11	12										
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用してデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・お客様に社内実践をご紹介できるよう、PCA会計ソフト、セキュリティ対策としてのSynology、UTM、GSPを導入している ・電子契約の導入、カタログ、提案ツールの電子化を推進している						8	9.1		11	12											
	21	【プライム企業】 ・プライム企業に認定されている。	●				3	4				8	9		12											

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: メディア株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれらの形態に応じて、読み替えてください。
 ・「予定」の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

チャレンジ項目記入数 7

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1 1. 持続可能な開発目標	2 2. 経済成長	3 3. 社会的不平等の削減	4 4. 経済成長	5 5. 経済成長	6 6. 経済成長	7 7. 経済成長	8 8. 経済成長	9 9. 経済成長	10 10. 経済成長	11 11. 経済成長	12 12. 経済成長	13 13. 経済成長	14 14. 経済成長	15 15. 経済成長	16 16. 経済成長	17 17. 経済成長		
	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・事業所から排出される廃棄物は免許を持った業者と契約し、適正に処理している			3.9			6.3						11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・「簡易計算シート」により自社のエネルギー使用量を把握し、削減に取り組んでいる ・LED/省電力型エアコン導入、営業車を全てハイブリッド車に変えてエネルギー使用量を削減している						7.3							13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・「簡易計算シート」により自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減に努めている ・LED/省電力型エアコン導入、営業車を全てハイブリッド車に変えて温室効果ガス排出量を削減している	2.4					7.2 7.3 7.a						12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・環境に配慮した製品の提供を通じて、生物多様性の保全に取り組んでいる ・複合機1台を販売するとインドシアとフィリピンにマンゴロープ1本を植林し、高潮や津波の被害軽減、生物保護に繋がる企画に参画している					6.6								14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・再生用紙やエコ商品の販売・利用を推進している ・社内・お客様先でのペーバーレス化を促進している							9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15					
環境	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・「節水」や「汚水等の適切な処理」を実施している ・すべての蛇口前に、(節水)又は(限りある資源 水)の表記をして社員に节水の意識を持たせている	2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.8					11.5		14.1 14.2 14.3	15		17				
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・グリーン購入に取り組んでいる ・再生用紙やエコ商品の販売・利用を推進している ・社内においても再生用紙を利用している							9.4			12.4 12.5	13	14	15						
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●			1	2				6.4						12.3		14	15		17		
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		社内敷地内に植栽を行い緑の保全と創出に取り組んでいる										11.6 11.7	13.1 13.3		15		17				
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●								7.1 7.2 7.3 7.a	9.4		11.5		13.1 13.3								
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		水筒及びタンブラーを持参しペットボトルの使用削減に取り組んでいる										12.2 12.5		14							
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・社用車は4台全てハイブリッドであり、内2台は通勤にも利用。また2名の歩行通勤者がいる						7.1 7.2 7.3 7.a	9.4		11.2		13.1 13.3								
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●								7.1 7.2 7.3 7.a	9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.2		

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: メディア株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

チャレンジ項目記入数 7

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1 1. 持続可能な開発目標	2 2. 経済成長	3 3. 社会的不平等の削減	4 4. 経済成長	5 5. 経済成長	6 6. 経済成長	7 7. 経済成長	8 8. 経済成長	9 9. 経済成長	10 10. 経済成長	11 11. 経済成長	12 12. 経済成長	13 13. 経済成長	14 14. 経済成長	15 15. 経済成長	16 16. 経済成長	17 17. 経済成長	
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・お客様に商品を届ける際にはメーカーの出荷証明書を添付している ・商品の販売時にアンケートを取得している ・導入後に提案通りの活用がされているか、定期的に約束事の実行、操作の理解などフォローしている			3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●	■	・お客様に提供する製品やサービスにおいて、ユニバーサルデザインを考慮している ・スロープ、階段の手すりを設置し、優しいオフィスに取り組んでいる									9.1	10	11.7					17		
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4						7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●									7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4			11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・商工会議所では事業所支援推進委員会(BCP関係)の委員長をしている ・青年会議所、経済同友会に所属している ・くまがわ祭り総踊り、妙見祭への所属団体への参加をしている	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●	■	・事業所において、防災備蓄や防災グッズを常備している ・事業で活用するデータは外部(他県)サーバ、クラウドに保管され、災害時でも事業が継続できるようにしている			4								11.5	13.1		16				
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4							10.2	11.5		13.1		16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	・防災関連商品の販売を促進(備蓄・避難・減災・防犯商品等)している ※複合機転倒防止キット、各種クラウド商材									9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・顧客に対して、ハンターを通じてSDGsの普及啓発や情報提供を実施している ・ハンターとコラボして、SDGsイベントへ積極的に参画していると同時に社内のSDGsへの理解を深めている	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターナショナル等の受入れ】 ・職場体験・インターナショナルの受入れ、職場間連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●					4				8.6		10.2								17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4				8.5 8.6										17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●		2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15		17	

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。